

令和元年度ポプラの会総会議事録

1. 山本悦夫さんご挨拶

皆さんこんにちは。本日はご多用の中、ご来賓の皆様、会員の皆様、運営委員・ボランティアの皆様にご出席賜り心より御礼申し上げます。

おかげさまで、ポプラの会も 2006 年 4 月に発足して 15 周年が経ちました。その間に、当事者会活動が果す役割も格段と増えて消えてきて、ポプラの会も地域活動センターの運営や NPO 法人として、長野県ピアサポートネットワークの代表、事務局として活動して参りました。施策提言、障がい理解のための普及啓発活動、交流、講演会などで障害のある人の権利について学び、交流をして当時社会活動を継続してこられましたことに感慨深く思います。

今年度は今までに加え、長野市の新規事業 精神障害者地域移行・地域生活支援事業を受託します。その事業ではピアサポーターの養成講座と相談支援を行います。気持ちが引き締まる思いですが、これらの活動をしてこられたのも、ひとえに皆様のご支援の賜物と心よりお礼申し上げます。

昨年の 10 月に東日本大震災のチャリティコンサート・講演会は、大変好評でした。このような機会によって震災で被災された方々の支援が出来るという事で私たちも企画運営して良かったと思います。「良い活動をされていますね。」という励ましのお言葉も頂きました。今年も 10 月にコンサートを行います。また、きょうされんが「星に語りて」という映画で震災の様子をドキュメントタッチで作り上げたもので、すごく感動しました。その上映会も今年開催いたします。その折には多くの皆様のご参加をお待ちしております。

本日の研修会では聖学院大学で教鞭をとられている相川章子先生に「ピアサポーターの働き方と可能性」と題してご講演を頂きます。相川先生にはピアサポート研修でも大変お世話になりました。この研修はポプラの会が先の長野市の新規事業、長野市精神障害者地域移行・地域生活支援事業委託により、ピアサポーターの養成講座の第一弾として行います。長野県精神科病院協会、長野県精神保健福祉士協会、長野社会復帰促進会さん等のご後援を頂き、全 8 講座を開催いたします。ピアサポーターの働き方と可能性を学びながら、今後のピアサポートが長野で広がるために繋げていきたいと思えます。ポプラの会は、当事者会として、これからも皆さんから寄せられる声や要望なども伺いながら障がいがあってもその人らしく暮らせる地域作りを目指して努力して参ります。皆さんもどうか色々な想いや声をポプラにお寄せください。

本日は総会の後の研修会でも、皆さんの積極的なご意見、ご参加をお待ちしております。今年度もポプラの会を宜しくお願い申し上げます。これで私の挨拶と変えさせていただきます。

2. 長野県健康福祉部保健・疾病対策課 課長 徳本史郎 様

【代理出席】課長補佐兼心の支援係長 小澤利彦様 ご挨拶

皆さんこんにちは。本日はNPO法人ポプラの会令和元年度総会と研修会が盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。本来であれば保健・疾病対策課長の徳本よりご挨拶させていただくところですがあいにく所要の為出席できませんので私課長補佐の小澤より代理でご挨拶させていただきます。

皆様におかれましては日頃から精神障がいがある方やそのご家族の皆様が地域で安心した生活できるよう相談活動やピアサポート活動、交流や学びの場作りなど積極的に取り組まれていらっしゃることに改めて深く感謝と敬意を表するところでございます。

県におきましては昨年度作成しました、第2期信州保健医療福祉総合計画に基づきまして精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築など誰もが地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることが出来る社会作りを進めております。

今後も誰もが自らの課題に挑戦し自分らしく地域で安心して暮らせて行く事の出来る長野県になるように取り組んで参りますので、皆様には引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

又、先ほど山本会長さんのご挨拶にもございましたがポプラの会におかれましては今年度は新たに長野市と連携されて新たな事業に取り組まれると伺っております。

結びとなりますが会の益々のご発展と会に出席の皆様のご健勝とご多幸を祈念しましてお祝いの言葉とさせていただきます。

3. 長野県精神保健福祉センター所長 小泉典章様

【代理出席】所長代理 山岸昌平様 ご挨拶

皆さんこんにちは。精神保健福祉センターの山岸と申します。本来であれば所長の小泉がお祝い申しあげべきところですが所要により欠席させて頂いております。挨拶文を預かっておりますので代読させていただきます。

本日ここにNPO法人ポプラの会の皆様方が集われ、令和元年定期総会が盛大に開催されますこと心よりお祝い申し上げます。

ポプラの会は今年で発足16年目を迎えられピアサポートの推進や普及啓発、地域活動支援センター、ポプラの会運営、施策提言など様々な場で活躍されてきました。精神障がいのある方が地域でその人らしく安心して暮らすことが出来るようにするため精力的に活動を続けて来られましたことは会員の皆様のご尽力のお陰であり当センターにいたしましても大変心強く感じています。

また長野県障害者の地域交通網を考える会の事務局として昨年度はJR東日本長野支社、JR東日本本社と直接交渉の場を設け大きな前進の年になったと伺っております。他にも研修会や東日本大震災復興支援チャリティ講演会及び演奏会を開催されるなど

常に新しい事を学び発信し続ける活気ある組織として躍進を続けられています。
複雑な社会情勢ではありますが精神障がいのある方が自分らしく充実した生活を送る機会が今後益々増えていきますよう精神保健福祉センターがポプラの会の活動に期待し、これまで通り支援を継続させていただき所存です。最後にポプラの会の今後の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝をご祈念申し上げます。 所長 小泉典章

4. 長野市保健福祉部障害福祉課課長 竹本好司 様

皆様こんにちは。ご紹介いただきました長野市障害福祉課長の竹本と申します。一言ご挨拶させていただきます。

本日はNPO法人ポプラの会の令和元年度総会が大勢の皆様のご参加により、盛大に開催されましたことをまず心からお祝い申し上げます。

ポプラの会の皆様には本市の福祉行政に対しまして、格別のご理解とご協力を頂いております。

地域活動支援センターの運営を始めとして、ピアカウンセリング、各種研修会の開催など活発に活動をして頂いておりまして障害当事者の皆さんの福祉の向上と社会参加の促進のために多大なるご尽力を頂いておりますことに心から感謝申し上げます。

障がいのある方の取巻く環境も年々変わり、福祉も充実して参りましたが、まだ十分とは言えません。特に障がいを理由とする差別の解消を社会全体に浸透させていくには時間の掛かるものと思います。今後とも皆様方と一緒に啓発活動に取り組んでまいりたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

ポプラの会の皆様のご発展と本日ご参加の皆様のご活躍とご多幸を祈念申し上げお祝いの言葉とさせていただきます。

本日は誠におめでとうございました。

5. 長野県精神保健福祉士協会 会長 夏目宏明 様

皆様お疲れ様です。

令和元年初めての定期総会という事でおめでとうございます。

先ほど会長さんの方からもお話にもございましたけれどもポプラの会は地域での様々な活動、地域活動支援センター、ピアサポートネットワーク事務局の役割をおつとめ頂いて大変ご尽力をいただいている所でございますけれども先ほどのお話で長野市の委託を受けて新たに地域での新規事業を始められるという事ですので本当にご活躍され本当に嬉しく思います。長野県精神保健福祉士協会も頑張ってお皆さんの応援ができるように努めて参りたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

6. きょうされん長野支部 支部長 山口須麻子

【代理出席】事務局長 松澤重夫 様

皆さんこんにちは。本日は総会おめでとうございます。

ポプラの会の活動につきましては山本さんや大堀さんをはじめ本当に活発な行動・アクションをし我々きょうされん長野支部も後押しいただきリードして頂いる存在です。何をするにしても行動がないと次の一步が踏み出せない、そういった所では本当に 15 年間地道な活動をされてきたことを尊敬しています。我々長野支部も年々会員数が減っていますがポプラの会の皆さんの応援をいただきながら一緒に頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

7. 長野県障がい者運動推進協議会代表 松丸道男 様よりメッセージ

誰もが尊厳を持ちながら生きられる社会をご一緒に。

NPO法人ポプラの会 2019 年度の定期総会のご成功をおめでとうございます。精神障害者の生活、医療、福祉等の充実をはじめ、社会保障の全般の発展を目指し、精神的に取り組んでいられることに敬意を表するものです。私たちの願いは社会の中で人間らしい生活を貫くことです。しかし、その生活実態は中々改善されないばかりか不正や偽装、人権侵害が続く政治情勢に翻弄され続けています。2015 年に難病法が施行され助成対象が 56 から 300 に増えました。政府は助成対象者が倍増すると宣伝、私たちは運動の成果と喜び合いました。しかし経過措置を終了してみると、けいしょうしゃが外され助成対象者は逆に減少していることがわかりました。障がい者基礎年金について都道府県で格差が大きいとして東京のセンターに一元化しました。途端に年金打ち切り問題が発覚し大運動の結果、一部はかいちょうしましたが課題は残されたままです。夏には中央省庁で発覚し都道府県や市町村にまで広がった障害者雇用水増し偽装問題が明らかになりました。障がい者雇用促進法の一部改正がキトされていますが精神障害者の労働問題を含め抜本的な解決には程遠い現状です。勇気ある女性の告発で始まった旧優生保護法、1948 年から 1996 年の元での障がいのある方々への強制不妊手術問題は、救済法が成立したものの本質的な解決には課題が山積しています。また国際的にも問題されている長期入院や過度の身体拘束等、我が国の精神医療は深刻さを増しています。今、私どもは全国的に取り組んでいいることは社会保障の基板となる平和、人権、民主主義の確立を目指した日本国憲法や、国連障がい者権利条約が生きて輝く社会作りです。厳しい情勢を切り開き誰もが人間らしく尊厳を持って暮らせる社会を作るために貴会の益々のご活躍とご発展を心から期待しています。2019.6.吉日

8. せいしれん会長 中村美恵子 様

せいしれん会長の中村です。本日は総会おめでとうございます。

15回なんですね。やはり継続は力なりです。長野市から大事な役、ピアサポーターの養成、あるいは相談が受けたのではないかと思います。本当にポプラの会の皆さんは一人ひとりが力を持っているかなと思います。これからも益々ピアサポーター、当事者の力は重要になってくるかなと思いますのでせいしれんとしても協力していきたい。ただ、ピアサポーターを養成しても中々出番がない。やはり活動の場所などを開拓しながらやっていかないといけないと思います。せいしれんも長野県からも若者むけ、心のバリヤフリーという事業を受けているが当事者の出番を増やしていったら良いなと思います。

9. 特定非営利活動法人長野県精神保健福祉会

NPO法人ながのかれん 理事長 草間博 様

本日は総会の開催おめでとうございます。

ポプラの会さんとはJRの交通運賃の件で深い関係がございまして、県の家族会・全国の家族会で52万人の署名を国会にあげようかと思って試みたわけでございます。国会にあげる前に大きな関所がございまして国土交通委員会を通らないと上がらないということでその委員会で反対にあったが今後ともその3障がい一緒という事の中でポプラの会さんと共に推進が出来たらと思うわけでございます。それから最近の流れですが県の方で行政・共生社会に向けて障がいのお持ちの方が地域で暮らしやすく暮らせるという共生社会を作るための現状例というものを作ろうと始まっています。皆さんからのこんな暮らしづらさがあるんだよという声を山本会長さんも私どもの理事です。大いに声を届けていただきまして、より良いものが出来れば良いかなと思います。本日は総会誠にありがとうございました。

10. 長野県社会復帰促進会 会長 飯島富士雄 様

【代理出席】幹事 長崎栄子様 ご挨拶

本日は総会おめでとうございます。

本来なら会長の飯島が出席すべきところですが私がメッセージを代も上げさせていただきます。

本日はNPO法人ポプラの会総会おめでとうございます。いつもポプラ通信を拝見させて頂くと年ごとに当事者の活動の和を広げて成果をあげていらっしゃるの手に取るように分かります。誠に敬意を表します。障がい者の家族である私どもは年々老化し、皆様方の活動を見守ることくらいしかできません。これからも当事者である皆様

自身が発言し行動してくれることが社会に対しても最も直接的で効果的です。障がいがあってもすぐれた能力、考えを持っている方は大勢います。持てる能力を発揮し活動を通じて自己実現を図るべく皆様のこれからの大いなる活躍を期待してご挨拶とさせていただきます。

11. 長野県ピアサポートネットワーク代表 大堀尚美 様

皆さんこんにちは。本日はNPO法人ポプラの会総会おめでとうございます。
私ども当事者として共に歩んで参りました。今後は先程皆様からご意見ご助言いただきましたようにピアサポーター自身が学びながら、支え合いながら自分たちの会と仲間の回復を助け合いながらまた更に活動の場を広げていくという新たな挑戦の場だと思います。長野県ピアサポートネットワークでは長野県障がい者支え合い活動支援事業をしておりますが、ポプラの会さんでは長野市の新規事業を委託されるということで色々みんなで地域でピアサポーターが自身が元気でまたお互いに支え合いいろんな方々にご支援いただきながら学びながら進んでいければと思います。今後ともポプラの会の皆様のご発展を祈念いたしまして挨拶と代えさせていただきます。